

香川県知事からのメッセージ

～穏やかな年末年始を過ごすために～

年末年始に向けて、県民の皆さまへのお願いです。

現在の香川県内の状況は、急激な感染の拡大にまでは至ってありませんが、「感染警戒期」と位置づけて、県民の皆さまには十分な警戒の下に行動いただくことを法律に基づきお願いしています。そのような中での年末年始をお過ごしいただくことを、お願いしなければならないことは、私としても心苦しいかぎりではありますが、皆さまお一人おひとりが、感染防止対策の徹底をはじめ、以下の点に十分に留意していただくとともに、帰省や旅行を含め、年末年始の過ごし方について、今一度、ご家族等とご相談していただくようお願いいたします。

- まずは、お住まいの地域において、地域外への移動についてどのような対応が求められているのかを十分に確認してください。
- 体調が悪い方は、帰省や旅行を控えましょう。
- 年末年始の時期は、人の移動が集中し「密」になりがちのため、帰省や旅行を分散していただくよう、ご協力をお願いいたします。
- 改めて「三つの密」の回避や、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」、「適切な換気」をはじめとした基本的な感染対策を徹底しましょう。

特に重症化のリスクの高い高齢者、基礎疾患のある方、妊娠している方に会うときには十分注意してください。

- 初詣については、混雑する時間帯を避けましょう。
- 大きな声になりやすい飲酒を伴う懇親会、大人数や長時間におよぶ飲食などのほか、マスクなしでの会話やカラオケなど、感染リスクが高まる「5つの場面」は、できるだけ控えるようご協力をお願いします。
ご家族やご親族、ふるさとの友人との会食については、少人数・短時間とした上で、座席間隔を確保し、会話をするときはマスクを着用するなど、感染リスクを下げながら楽しみましょう。また、外食は、ガイドラインを遵守したお店を選び、体調の悪い方は参加を控えましょう。
- 新型コロナウイルス感染症は誰もが感染する可能性があります。感染者や医師・看護師などの医療従事者及びその家族、そして都道府県外からの旅行者や帰省者への誹謗中傷や差別などは絶対にやめてください。

令和2年12月21日

香川県知事 浜田 恵造

「感染警戒特別警報」 知事から県民の皆さまへの緊急メッセージ

本県においては、県民の皆さまが、新型コロナウイルスに十分な警戒をいただいていることもあり、現時点では、本県以外の感染が急増あるいは高止まりしている都道府県と比べれば、感染者数は少なく推移しているとみています。

しかし、今月に入り、3つの集団感染事例が発生したほか、その他の地域でも新規感染者が散見されるなど、昨日までに100名を超える新型コロナウイルスの感染者が報告され、直近1週間の累積新規感染者数が52人となり、香川県対処方針の次の対策期である「感染拡大防止対策期」に移行する際の目安となる48人を超えることとなりました。

一方で、もう一つの指標である感染経路不明者数の割合は9.6%と低い状況となっており、次の対策期に移行することについては、なお、状況を見極める必要があると考えています。ただし、このまま、感染の拡大が続き、感染者数が累増していくといった事態になれば、県内の医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応が難しくなるだけでなく、通常の医療にも大きな影響が生じるおそれがあります。

また、保健所では、感染者の行動履歴などを迅速に調査し、感染の可能性があると考えられる方を幅広く積極的に検査を行うことによって、いわゆる封じ込めを図っていますが、大規模な集団感染が連続して発生すると、これまでのように早期に封じ込めることも困難になるおそれがあります。

私といたしましては、こうした事態を避け、社会経済活動の両立を図っていく必要があると考えており、こうした状況を踏まえ、この度「感染警戒期」における「感染警戒特別警報」を発令し、県民の皆さま、事業者の皆さまに対し、これまでの感染防止対策を遵守いただくとともに、特に、以下の対策の徹底について、今一度強くお願いします。

- ・ 改めて、感染予防を徹底してください。
- ・ 会食はできるだけ少人数・短時間ですませましょう。
- ・ 医療従事者・高齢者施設関係者等は、改めて、感染防止対策の徹底をお願いするとともに、発熱等の症状があれば早めの受診をお願いします。

なお、先日、私から「穏やかな年末年始を過ごすために」というメッセージを出しましたが、国の分科会においても、年末年始に向けてのお願いが示されておりますので、こちらも踏まえていただくようお願いします。

令和2年12月24日

香川県知事 浜田 恵造

全国の皆さんへのお願い

令和2年12月23日(水)
第19回新型コロナウイルス
感染症対策分科会

4月の緊急事態宣言を出した当時には感染を収束させるために、広範に社会経済を抑制するという方法を取らざるを得ませんでした。しかし、この半年以上の経験を通して私たちは多くのことを学び、いわゆる“急所”を押えることができれば感染を収束させることが可能であることが分かってきました。

皆さんにおかれては、年末年始に向けて、以下の“急所”だけは是非押さえるようお願いいたします。

1. 忘年会・新年会などについて

食事の際の会話は、飲酒の有無、昼夜・場所にかかわらず、感染が生じやすい場面です。

(1) 食事は、静かにいただきましょう。

(2) 家族・いつもの仲間で、5人以上は控えて、すいている場所を選びましょう。

(3) おしゃべりするときはマスク着用。少なくともハンカチなどで口元をおさえましょう。

2. 帰省について

帰省の際には、感染防止策を徹底して、大人数の会食は避けてください。そうした対応が難しい場合には帰省について慎重に検討してください。